

素晴らしい卒業式でした。「感謝」

平成27年度も、残り1週間で終了しようとしています。3年生は3月12日(土)の卒業証書授与式を最後に、義務教育9年間で修了しました。一足先に有終の美を飾り、素晴らしい姿で矢野中学校を巣立っていきました。

特に、今年の卒業証書は「原爆の子の像」に捧げられた折り鶴を再生したもので作られた卒業証書であり、非常に意味深い卒業証書となり、広島市立の幼小中高の卒園、卒業生23,265名に授与されました。

授与式では、平和の継承の大切さや広島を語り継ぐ責務というものを実感し、証書に込められた思いを胸に、郷土広島への愛着や誇りを一層強くすることができたと思います。



進級、おめでとう。次年度の準備を！

さて、1年生、2年生の皆さん、4月からはそれぞれ2年生、3年生へと進級します。1年生は、良き先輩として後輩の見本となる準備を、2年生は、あこがれをもたれる最上級生としての準備をしましょう。

また、それぞれの学年にあった基礎学力、知識、技能を身に付け、自分の課題を次の学年へ持ち越すことがないように、残りの日々を有効に活用し、有意義な学校生活を送って欲しいと思います。

3月は別れの季節です。皆さんは今日まで、たくさんの人に出会い、支えられてきました。いつもすぐそばにいてくれた家族や仲間、そして先生、これまでの成長は多くの人との出会いや経験によって作られ、今日を迎えています。

ここでしっかりと考えてみましょう。私たちは決して一人で大きくなったわけではありません。これまでに出会った人たちに支えられ、教えられ、成長し、今の自分があります。これまで出会った多くの人を思い起こし、一人一人に「ありがとう」と感謝ができる人であって欲しいと思います。

日本には、昔から使われる良い言葉があります。「お世話になりました」、「お陰さまです」などの言葉です。まわりの人たちに感謝の心を表す言葉です。

今一度、自分のまわりを見回して、どれだけの人たちにどのようにお世話をいただいたかを振り返り、感謝の気持ちを表して欲しいと思います。

人間としての成長に「感謝の心」は欠かせません。それを言葉にしてしっかり伝えられてこそ、これからの成長につながります。

魅力ある生活をするための心がまえ

① 謙虚になって生活しよう

謙虚さ、熱意、責任感、誠実さ、勤勉さ、協調性、明朗さ、創造性、リーダーシップなどが生活をする上で必要ですが、その中でも謙虚であることが大切です。

② 「ありがとう」を口癖にしよう

「ありがとう」を口にすると、人に対する謙虚な気持ちがわいてきます。「ありがとう」と言うことで、周りの人も嬉しく幸せな気持ちになります。感謝の気持ちを大切にしましょう。

③ 素直な心で接しよう

素直な心をもつ人は、必ず成長します。人の助言や忠告は素直な心をもって聞きましょう。

④ 失敗は正直に話そう

失敗は誰にもあります。失敗してもそれを自分の責任だと認め、隠したりごまかしたりしないことが大切。誠実な人は、まわりの人から信頼されます。

⑤ 笑顔を大切にしよう

あなたの笑顔であなたもまわりの人にも明るくなります。また、「ありがとうございます」、「喜んでさせていただきます」などの肯定的で前向きな言葉を多く使うことも大切です。

⑥ 心をこめて挨拶をしよう

挨拶は、人間関係の潤滑油。挨拶には、相手への心遣いや感謝、敬意の気持ちが基本にあります。挨拶のコツは、

「**あ**かるく、**い**つも、**さ**きに、**こ**づけて」することです。

⑦ ちょっと早めに行動しよう

時間を守ることは信頼の第一歩。約束の時間を守ることは、相手を大切にすることです。人は自分の時間を大切にしてくれる人と一緒に生活をしたいものです。

⑧ ポジティブに考えよう

ポジティブ思考の人は、どんな時でも積極的・肯定的に捉え、その状況のお陰で物事がうまくいくと信じて行動できる人です。物事はポジティブに考えようまくいきます。

⑨ 気持ちの良い身だしなみを心がけよう

「人は見た目が9割」の言葉通り、人はおおよそ外見で判断されます。服装がだらしない人間までだらしないと思われれます。相手に不快感を与えない身だしなみが大切です。

⑩ 健康に気をつけよう

何をするにも健康第一。精神と身体の健康を保つよう努力することが大切です。



進級

